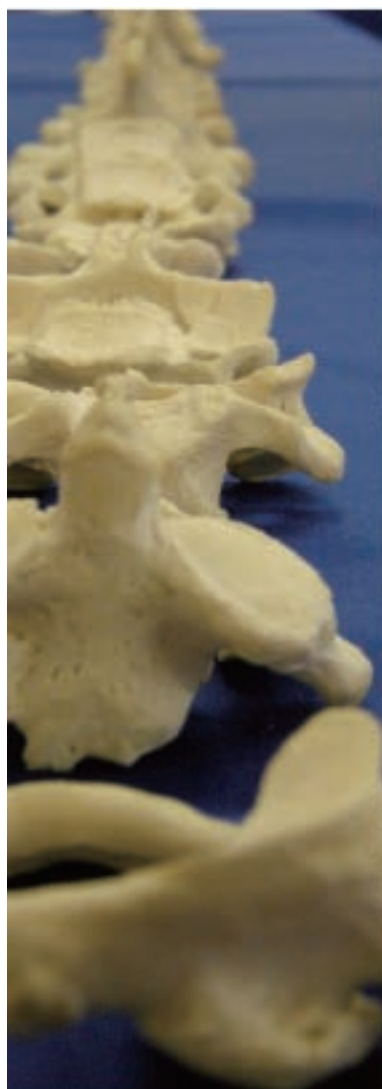


シュタイナー教育教員養成講座

第六期募集要項（2010～2012）



NPO 法人 日本アントロポゾフィー協会主催

2010～2012

シュタイナー教育教員養成講座

第六期（平成22年7月～24年4月） 募集要項

複雑化した現代の社会において、自らの内にしっかりとした軸を持つ人間を、誰もが胸の内に望んでいます。シュタイナー教育は、日本に紹介されて30年来、数多くの教育関係者や子どもを持つ親たちから関心を集め続けています。それはシュタイナー教育が、私たちがともに未来へ向かって歩いていくための道を、確かに示してくれているからに他なりません。

本講座、シュタイナー教育教員養成講座では、下記の三つを柱にカリキュラムを組み、2年で30日間の講座を開催する予定です。

ルドルフ・シュタイナーが提唱した人間観・世界観の基礎
シュタイナー学校の教師による教授法等のセミナーや様々な芸術体験
シュタイナー教育を社会の中で実践するための基礎的な知識

本講座は海外の全日制の教員養成等とは同等のクォリティーではありません。海外での全日制教員養成で学ぶことが難しい方々の基礎的な学びの機会になること、また、シュタイナー教育の実践に携わろうとする人同士のコミュニティとなることを目的としています。修了時に上記の基礎的な過程の修了を証明する修了書が、普遍アントロポゾフィー協会教育部門（スイス・ドルナッハ）から発行されます。修了に際しては、一定の出席数、レポートの提出が必要です。

本講座は、全日制の教員養成講座を行うことが難しい日本の状況の中で、出来るところから始めようと、1994年に開設されました。今期で第六期を迎え、日本語で受講できるシュタイナー教育の基礎を学ぶ講座としては、15年の間、多くの卒業生を輩出し、多くの方々が全国各地でその学びを実践に活かしています。

この講座での受講者、講師、運営者のさまざまな出会いが生まれ、新しい世界を切り開いています。今期も豊かな出会いが生まれるように大いに期待しています。

シュタイナー教育教員養成講座運営会

竹田喜代子 吉澤明子 鈴木一博 柳澤玲一郎 澤口直也

講座の内容

■ 講義

シュタイナー教育の基本となる、ルドルフ・シュタイナーの人間観、世界観、の基礎を学びます。講義の中には、ディスカッションの時間を設け、ただ講義を受けるだけでなく、積極的に疑問や、質問、自らの思いを講座で共有し、机上の学びでなく、自らのところが通う学びを目指します。講義では、シュタイナー教育の基本文献である「教育の基礎となる一般人間学」を講座終了後も受講者自身で読み深めていけることを二年間の目標とします。

■ セミナー／芸術体験

シュタイナー教育、実践に向けての教授法とその背景にある考えを、現場に立つ教師たちから学びます。また、シュタイナー教育の中で、子ども達が授業で体験する、オイリュトミー、音楽、水彩、フォルメン線描、彫塑、手仕事等を実際に体験し、教育芸術としてのシュタイナー教育を学んでいきます。

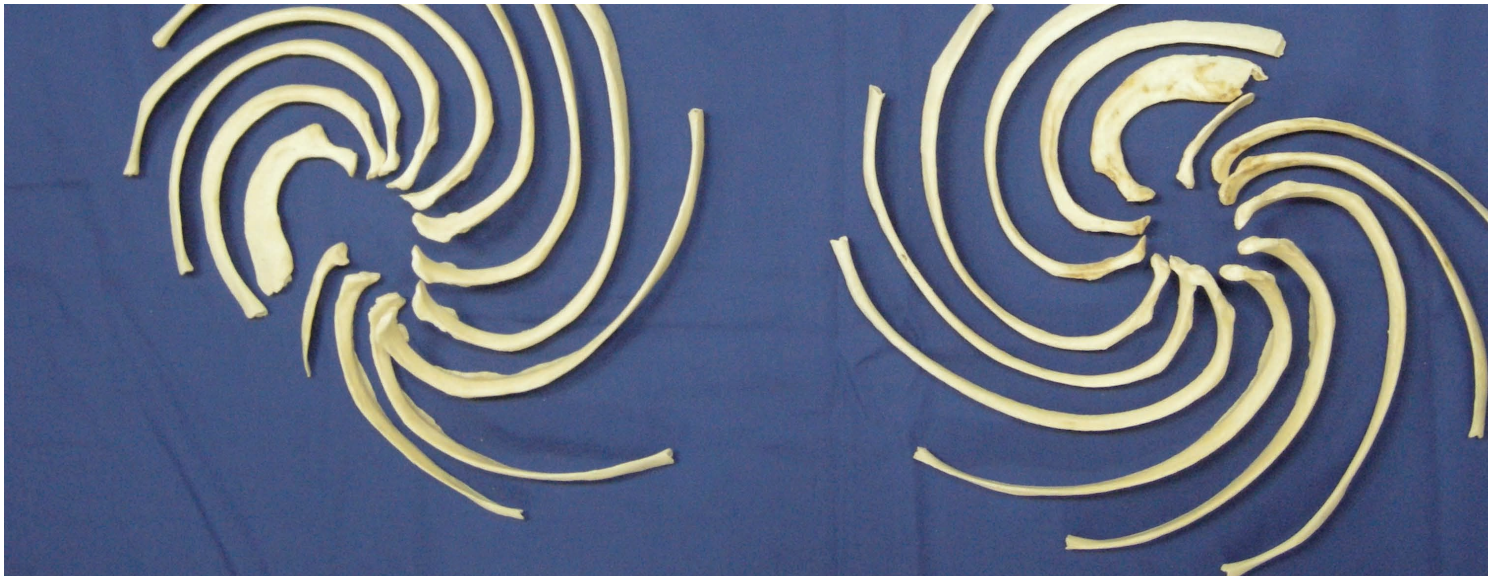
■ 聴く体験と自然観察

聴く体験、自然観察の時間は、教育者としての基盤となる、聴くこと、観ることを毎回継続的に体験し、音楽的・絵画的素養を広げます。当講座では現場で子どもの教育に携わる者として、聴く力、観る力を育むことを目的のひとつとしています。

■ 一日の時間割

1時限（午前）	オイリュトミー
2時限（午前）	講義（2コマ）
—	昼休み
3時限（午後）	自然観察
4時限（午後）	セミナー／芸術体験
5時限（午後）	聴く体験
—	振り返り／ディスカッション





■ 講義

	夏（7月末）	秋（9月）	冬（12月末）	春（4月初旬）
1年目	からだ・こころ・精神	人間のなりたち	バイオグラフィー	バイオグラフィー
2年目	人類史	文化史	教師の自己教育	教師の自己教育

■ セミナー／芸術体験

	夏（7月末）	秋（9月）	冬（12月末）	春（4月初旬）
1年目	シュタイナー学校の音楽	四つの気質	手の仕事	子どもの成長
2年目	水彩	シュタイナー学校の算数	言語造形	クラス運営

※カリキュラムの内容は変更の可能性がありますので、予めご了承下さい。

- 日程：2010～12年 二年間で計30日間の集中講座（4回／年 各3～5日間）
 ※注）宿泊施設はありません。宿泊は各自で手配して下さい。

初年度（2010、11年）日程

- ①2010年 7月28日（水）～8月1日（日）
- ②2010年 9月18日（土）～20日（月・祝）
- ③2010年 12月26日（日）～29日（水）
- ③2011年 4月 1日（金）～3日（日）

二年度

- ①2011年 7月27日（水）～31日（日）
- ②2011年 9月17日（土）～19日（月・祝）
- ③2011年 12月26日（月）～29日（木）
- ③2012年 3月30日（金）～4月1日（日）

- 場所：オーディオパデー研修センター

- 受講料：1年間30万円（2年で計60万円。入会金等はありません。別途、オイリュトミーシューズ、リコーダー教材費等が必要になります。分納可。その場合分割回数に応じて割高になります）

- 定員：40名

■ 講師

影島 清恵・古賀 美春・鈴木 一博・竹田 喜代子・増渕 智・柳澤 玲一郎・吉澤 明子、その他
(敬称略・五十音順)

■ 運営会／スタッフ

竹田 喜代子・吉澤 明子・鈴木 一博・柳澤 玲一郎・澤口 直也／太田 初・加地 宏行・
西尾 早知子

■ 応募方法

要項を参照の上、受講希望の方は、

- 1、履歴書（市販のもの、写真貼付）
- 2、受講の理由、動機を800～1200字程度で書いたもの
- 3、アンケート（次ページ）

計三点を、下記の申込み先に郵送にてお送り願います。

■ 申込み・問い合わせ

〒223-0052 神奈川県横浜市港北区綱島東3-5-50 1F
シュタイナー教育教員養成講座運営会（オーディオパデ研修センター方）
Tel/Fax：045-543-1394
(Faxは24h対応。電話対応は火・金10時～16時。
時間外の電話での問合せは042-678-6401（澤口）まで。)
Email：kyouinousei@gmail.com

■ FAQ

Q：受講条件はありますか？（年齢、教員免許の有無など）

A：18歳以上、教員免許の有無は条件に問いません。

Q：受講料に、教材費や宿泊費は含まれますか？

A：含まれません。別途必要になります。

Q：講座と講座の間、自分でどのように勉強を進めたらいいのでしょうか？

A：課題図書を読むことや、お住まいの地域での講座に参加されることをお勧めしています。

Q：基礎を築くための講座とありますが、基礎の次なる講座があるのでしょうか？

A：教師養成、芸術療法士、その他の社会実践等の専科コースの設置を検討中です。

Q：シュタイナー学校の教員は教職免許が必要ですか？また、この講座の修了で、シュタイナー学校の教員資格となりますか？

A：学校法人のシュタイナー学校では、日本の教員免許が必要です。また、シュタイナー学校の教員応募の条件としてシュタイナー教員養成修了が求められます。本講座の修了生で現在シュタイナー学校で教えている皆さんは、実践力を身につけるために本講座とは別に各自実習にあたる場を求め、そののちに全日制のシュタイナー学校の教員として活躍されている方がほとんどです。

Q：この講座を終えたら、シュタイナー学校の教員として働けるのでしょうか？

A：各学校の状況によりますが現実的には実際の公教育等での教師免許や経験などが必要な場合が多いと思われます。講座終了後、すぐに具体的な仕事に結び付くもの（資格等）とお考えにならない方がいいと思われます。

Q：講座から、各学校への斡旋や紹介はありますか？

A：特にありませんが、各地のシュタイナー学校から教員募集がある時には、その都度受講生にお知らせしています。

氏名		
教員免許 (○で囲む)	有 (種別)	無
Email	@	

シュタイナー教育をいつ、 どのようにお知りになりましたか？	いつ 例) 10年前	どのように 例) 子育ての最中インターネットで知る
当講座をどこで知りましたか？ (該当の項目に○を記入)	A : 日本アントロポゾフィー協会の会報 B : インターネット C : 公開講座 D : 知人の紹介 E : その他 ()	
シュタイナー教育に、どのような 関心、魅力を感じていますか？	例) 子どもの内面性を重視している。その裏打ちに説得力を感じる。	
今までにシュタイナー教育に関する 書籍を読んだことがあれば、 書籍名をお書き下さい。	例) シュタイナー教育を考える 子安美知子著	
今までにシュタイナー教育に関する 講座を受講されたことがある方は、 内容や講師名をお書き下さい。	例) シュタイナー教育に関するもの 講師・竹田喜代子	
二年間の受講終了後の方向性 (該当の項目に○を記入)	A : シュタイナー学校の教員を目指す B : 現在の職に活かす C : 地域活動に活かす (土曜学校など) D : 留学 E : その他 ()	
二年間受講を続けることに 不安がある場合は明記して下さい。	例) 小さい子どもがいるので、急な病気等で参加が出来ないこともあるかもしれないので	

※アンケート内容は、講座運営に参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

応募の際は、このページを切り取るかコピーをして同封して下さい。